

発行は山崎農業研究所と農文協の了承を得ていますが、発行責任は原田勉個人にあります。老いの手習いです。おいおい面白くしたいと思います。

もちろんキーワードに関心ある一般の読者も歓迎します。投稿も自由です。

目 次 **発刊のことば**

<舌耕のネタ>

- ◎ タイトル『電子耕』について
- ◎ ニュース

<農業・図書情報>

- 1、写真は語る百歳現役・長寿の秘訣（1）
- 2、『世界の水田 日本の水田』は優れたもの

<夏の健康食>

- 7月（旬の野菜）効用・材料・作り方
（1）酒の肴にヤマトイモのみそ漬け
-

<舌耕のネタ>

◎ タイトル『電子耕』について

山崎農業研究所の所報は16号から『耕』と山崎不二夫先生によって命名された。田畑を耕すというほかに、心をたがやす、思想を掘り起こすという意味もこめられたという（山田民雄事務局長の編集後記による）。

耕はカルチャー（c u l t u r e）文化・教養・栽培・耕作・養殖という意味もある。このメールも、めざすところはカルチャーマガジンである。

それを今流行の電子メディアでやろうという。これが『電子耕』である。

私は今まで新聞記者、雑誌編集者、映画・スライド・テレビ制作者、図書出版、などいろいろな媒体（メディア）に関わってきたが、

いずれも組織の一員として、主体的に働いてきたが個人の自由の範囲は限られていた。

いま私は自ら耕す人、自由に主体的に働く耕作者となった。しかも新しい未知の分野の電子メディアによって挑戦する。

60年むかし私は35アールの小作人の養子であった。

養父の遺言は「小作人にだけはなるな」であった。

地主の下で米・麦ともに収量の半分を納め、土地取り上げは地主の自由で小作人には耕作権も補償されないものだったからだ。

小作人の倅が今自由な『電子耕』という耕作権をもつ主催者になる。プロバイダーのサーバーを借りてはいるがわずかな利用料で自由な発言ができる。

ぼつぼつであるが『電子耕』は「自分の思想をたがやしそだてる」ことをめざしたい。

ご意見は、Eメール

<mailto:tharada@anet.ne.jp>

原田勉のホームページの掲示板

[http://www62.tcup.com/6201/tom.html?](http://www62.tcup.com/6201/tom.html)

をお願いします。返信はできるだけ『電子耕』に転載したい。

ご了解下さい。

◎ ニュース

・山崎農業研究所では6月13日から初の試みとして海外見学ツアー「雲南の花博・農村と西安の旅」を行い好評であった。

昆明の世界園芸博覧会は日本の花博とくらべていかがだったか。雲南の農村の見学は皆初めてだったと思うが興味は？。西安の見物はいかがでしたか。

くわしいことは次号の『耕』82号に報告される予定である。このメールでもお聞きしたい。

<農業情報>

1、写真は語る百歳現役・長寿の秘訣（1）

自宅の家庭菜園でくわを使う近藤康男先生

<http://www.nazuna.com/100sai/70sai.html#1>

「今年はなんとかトウモロコシをものにしたい」

と昨年から土をつくり、堆肥を準備して春に蒔いたものが順調に育ちつつある。

この写真で皆さんは何歳と見られるだろうか。

今年の一月一日百歳を迎えられた農業経済学の権威近藤康男博士である。

朝日新聞の一月一日号の「ひと」欄などで紹介されてからテレビ局や雑誌社からのインタビューの申込が多い。

そして決まって「畑で働いておられる写真を」という注文である。

でも、「テレビは芸能あつかいだから遠慮する。雑誌社も家族が気を使うから原田君だけに頼む」と私が独占カメラマンとなった。

長寿の秘訣は菜園で朝晩の手入れと観察、作物の育つ姿を見るのがお楽しみ。

(詳細は第2号につづく。今後も随時おしらせします)。

2、『世界の水田 日本の水田』は優れもの

私の息子

<http://www.nazuna.com/>

は農業のことはほとんど知らない。

それが「水田って何千年も同じところで稲を育てて、連作障害が出ないんだってね、水が溜まっているときは嫌気性菌が働いて、乾いているときは好気性菌が働くんだってね。それが何千年もつづくわけなんて、凄いね」という。

今ごろ何を言うかと思ったら「テレビのたけしの番組（万物創世紀）でみた」という。たけしの番組も馬鹿にしてはいけない。こんな機会に農業を知るひともいるんだ。

そんなわけで、このメールマガジンで「水田の本」を取り上げた。

水田稲作の起源はちかごろ中国の長江流域で7000年以上というものが定説になってきている。

世界各国で米の生産は増えている。米はうまいし、栄養価もすぐれている。

しかも米の生産が環境と調和し、毎年おなじ場所で継続できる。
それは水田という装置が優れているからだ。

世界各地の水田は「土と水と人間の英知が創り出した文化遺産である」という。

広大な水田のオーストラリア・アメリカ・ブラジル。川岸に栄えたイタリア・フランスの水田。世界文化遺産に指定されたフィリピンの棚田。タイ、中国などの水田の特徴をたずね、ひるがえって日本の水田の優れた特質を紹介し21世紀に向けていかにあるべきかを説く。

『世界の水田 日本の水田』

写真と図表が多くわかりやすい解説。6/30 発売

著者：永年農地工学を研究し、水田と水質環境の専門家、
田淵俊雄博士。

A5判 222頁 定価2500円 発行 山崎農業研究所
発売 農文協

160-0004 東京都新宿区四谷3-5 太陽コンサルタンツ内
03-3357-5916

◆インターネット「田舎の本屋さん」

<http://www.ruralnet.or.jp/shop/>

でも注文できます。

●協力をいただいているサイト紹介コーナー

「農文協ルーラルネット」

<http://www.ruralnet.or.jp/>

「太陽コンサルタンツ」

<http://www.taiyo-c.co.jp>

(コメント交換のルーム・投稿歓迎します)

*B.S.さん（スウェーデン在住）より

「わたしの父も原田さんと同じ位の年です。わたしが遠方にすむようになる前に e-mail を無理やり教えてきました。

面倒がっていましたが、この頃は楽しくなってきたようです。

最初の頃、メールを送るたびに、国際電話で「今、メールおくれた

から」と連絡してきたのには、まいりましたが・・・

でも、いくつになっても新しいものに取り組める姿勢を持っている父を実は内心、尊敬しています。

原田さんのホームページにもとても刺激されています。」

---電 耕 掲 示 板より (抜粋)---

掲示板で応援していただいたみなさんありがとうございました。

*原田太郎 (息子・42歳) より

「発刊おめでとう。お父さんが65歳のとき自主的にパソコンはじめた時も驚きましたが、今回もビックリです。

Web-tv

<http://webtv.co.jp/>

でインターネットを始めたのは今年の夏でしたね。仕事場にも、やっと世界に繋がるパソコンが入って、これからは windows の勉強ですが応援します。無理せず近藤先生めざして長生きしてください。

みなさん、くれぐれも父をよろしくお願いします。」

<夏の健康食>

◎ 7月の旬の野菜

キュウリ、ナス、シシトウ、トウモロコシ、エダマメ、根ショウガ、葉ショウガ、レタス、オクラ、トウガン、シソ、トマト、カボチャ、ピーマン、サヤインゲン、

(1) 酒の肴にヤマトイモのみそ漬

効用：暑いとき、さっぱりしたみそ漬を酒の肴にいかがですか。

ヤマトイモはムチンという粘液質の消化酵素、コリン、アミラーゼ、サポニン、ミネラルなどが含まれていて、滋養強壮、去痰、消炎の効果があります。夏負け防止に、消化もよく食欲を増します。

作り方：皮をむいたヤマトイモを甘口みそに5、6時間漬けておくだけで出来上がり。昼ころ漬けておくと夕方の酒の肴にもよし、おかずにもなります。

この話は長野県烏川村 橋渡 良知夫妻の提供によるものです。

<文化欄>

私が戦中より関わっております劇団文化座の公演をご紹介します。

■ ■ ■ ■ 劇団文化座 109 回公演 ● 「パートナー」 ●
■ ■ ■ □ これからの人生、
■ ■ □ □ あなたはどのように生きていきますか？
■ □ □ □ そして誰と生きていきますか？
□ □ □ □ 出演 佐々木 愛 李 麗仙 ほか
□ □ □ □ 東京・1999年9月4日～12日 ◆ 前売券発売中
□ □ □ □ <http://www.nazuna.com/bunkaza/partner1999.html>

『電子耕』読みました」と付記して以下のアドレスにご予約いただければ一般券1割引になります。

<mailto:bunkaza@anet.ne.jp>

ありがとうございました。

週刊「74歳が送る農業カルチャーマガジン『電子耕』」創刊号+

--農業・健康・食・図書情報--

<http://www.nazuna.com/tom/denshico.html>

1999.7.8 (木) 発行 東京・ひばりヶ丘 原田 勉

<mailto:tharada@anet.ne.jp>

*****発行部数 525+16 部*****